

山陰中央新報「ヤングこだま」欄 (29.11.6)

10月28日(土)の山陰中央新報「ヤングこだま」欄に益田翔陽高校の生徒の意見が掲載された。「優しさ」「幸せ」について自分自身の体験をもとに意見を述べた。今年度6回目である。体験を通して自分の意見を書くことは、一生涯心に残る。そのような機会を増やせば増やすほど人生における課題解決の道が開ける。心に残る多くの引き出しを持って情報を編集して適切な解決策を考え、実行する。その精度を高めるために書いて書いて書きまくってほしい。そして、鉄板の課題解決能力を身に纏い幸福な人生を歩んでほしい。

今年度の「ヤングこだま」欄 (29.11.6 現在) の過去のタイトルは次のとおりである。

- 4月23日(日)「よく考えて使いたいSNS」(3年 早野 結)
「高齢者のためになる環境を」(3年 石橋 広雅)
「若者が積極的に地域活動を」(3年 原田 愛香)
「将来に役立つ弓道での学び」(3年 藤井 滝)
- 5月 7日(日)「理学療法士目指し一層精進」(2年 小林日なた)
「世界の子どもたちを幸せに」(2年 久保 祐香)
「視野を広く持ち柔軟に対応」(2年 齋藤 南)
「実習で食べ物の大切さ学ぶ」(2年 三浦かえで)
- 7月30日(日)「時間と金を無駄にせず生活」(3年 高島悠之介)
「自分に足りない知識を習得」(3年 石川 遥菜)
「ポジティブな思考で幸せに」(3年 青木 界人)
「目に見える形で夢アピール」(3年 寺田 彩乃)
- 10月21日(土)「学べること多く自分が成長」(3年 岡本紗也香)
「かけがえのない大切な存在」(2年 田原 歩香)
「互いに信頼し合うこと大切」(2年 下馬庭智加)
- 10月22日(日)「ゲームと多い共通、類似点」(2年 小林日なた)
「国語の勉強もでき一石二鳥」(2年 山本 海音)
「自分の世界を広げてくれる」(2年 三浦 優那)
- 10月28日(土)「優しいゆえに怒ってくれる」(3年 田原 優梨)
「怒ってくれる人がいて幸せ」(2年 師井 優花)
「そばにも遠くにもある幸せ」(2年 山本 美穂)